

法学会会員研究活動報告（二〇二二年四月～二〇二三年三月）

- 一 著書・編著
- 二 論文
- 三 判例研究・批評
- 四 書評
- 五 翻訳
- 六 六法・コンメンタール
- 七 座談会・シンポジウム・報告書・その他
- 八 学会活動

法律学科

網谷 壮介

二 論文

「中山竜一氏・高橋洋城氏への応答」（単著）『法の理論第四一号』（二〇二三年三月）二四七～二五七頁

四 書評

「上村剛『権力分立論の誕生・ブリテン帝国の『法』の精神』受谷」(単著)『日本一八世紀学会年報』三七号(二〇二二年六月) 四二～四四頁

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

公開合評会「西洋政治思想史学と西洋史学の対話・『王のいる共和政』をめぐる」(早稲田大学ナシヨナリズム・エスニシテイ研究所、二〇二二年一〇月二二日、オンライン開催)

石井保雄

二 論文

「唯物史観労働法学の開局と形成——敗戦時から一九五〇年代初めの沼田稲次郎」(単著)『獨協法学』第

一一九号(二〇二二年一月) 二九二(七一)～二〇一(二六二)頁

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

「遊筆／日本労働法学一〇〇年・労働法学会七〇年」(単著)『労働判例』一二七一号(二〇二二年一月) 二頁

「巻頭言／『勤労者』(憲法)・『労働者』(労組法)理解についての管見——沼田稲次郎の場合」(単著)『労働法律旬報』二〇二八号(二〇二三年三月) 四～五頁

大川 俊

一 著書・編著

取締役実務研究会（編）・秋坂朝則（代）『Q & A 取締役の法律実務』（加除式、二〇〇六年改訂版）追録第
二二〇・二二一号（二〇二三年二月）一四八八ノ三頁（分担執筆、第二章担当）、追録第二三二号（二〇二二
年三月）三二〇二ノ三頁、四三八四頁（分担執筆、第二章、第三章担当）

三 判例研究・批評

「Caremark基準の下で取締役の監視義務違反の責任が認められた事例——In re Clovis Oncology, Inc.
Derivative Litigation, 2019 WL 4850188 (Del. Ch. 2019).——」（単著）『獨協法学』第一一八号（二〇二二年八
月）横二九一頁

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

「アメリカ会社法における取締役の監視義務について——デラウェア州判例法の展開を中心に——」（単独）企業法
理研究会（オンライン開催）（二〇二二年九月）

岡田 順太

一 著書・編著

法学概説【第五章「法の担い手」】(共編著・神野潔・岡田順太・横大道聡編) 弘文堂(二〇二二年五月) 七五
〜九三頁

世界の憲法・日本の憲法―比較憲法入門【第四章「団体と個人」】(分担執筆・新井誠・上田健介・大河内美
紀・山田哲史編) 有斐閣(二〇二二年六月) 一四八〜一五八頁

「分断」と憲法―法・政治・社会から考える【第二部「共同体の分断と関係性の再構築―「結社による自由」
の可能性】(共著・新井誠・友次晋介・横大道聡編) 弘文堂(二〇二二年六月) 九五〜一〇八頁

二 論文

『選挙制を疑う』を疑う―抽選民主制に関する憲法的考察(単著) 『獨協法学』 一一七号(二〇二二年四月) 横
一(三二六六)〜横二一(三四六) 頁

統治における科学的集合知の導入―課題と展望(単著) 『法律時報』 九四卷五号(二〇二二年五月) 七〇〜
七四頁

移動の自由と社交の自由(単著) 『法学教室』 五〇一号(二〇二二年六月) 一五〜一九頁

公共としての私的主体―「営業の自由」論の再考を中心として(単著) 『比較憲法学研究』(比較憲法学会)
三四号(二〇二二年一〇月) 一〜一五頁

続・立法政策学ことばはじめ―大学生による法案作成授業の取組み(共著・岡田順太・岩切大地・大林啓吾・横
大道聡・手塚崇聡・栗田佳泰) 『地域総合研究』 一六号(二〇二三年三月) 二九〜四一頁

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

(報告) 立法政策学ことばはじめ―大学生による法案作成授業の取組み(単独)(二〇二二年五月二五日) 地域総

合研究所第一回例会（獨協大学） 獨協大学地域総合研究所

（コラム）主権者はサイコロ遊びをしない？（単独）（二〇二二年六月二〇日）オピニオン（法学館憲法研究所

Webサイト） 法学館憲法研究所

（報告）デジタル化時代の公文書管理（単独）（二〇二二年八月三日）情報法×憲法研究会夏合宿（高知大学）

情報法制研究所

（報告）Bicameralism in Japan（単独）（二〇二二年八月三〇日）

Symposium: Understanding the Constitution of Japan: comparison and analysis Trinity Centre for

Constitutional Governance, Trinity College Dublin, Ireland

（コメント）コロナ禍の教育問題（単独）（二〇二三年二月五日）シンポジウム）コロナ禍の教育問題―憲法学、

教育学、そして現場から（熊本学園大学） 熊本学園大学教育研究支援事業

（報告）Freedom of Association in Japan（単独）（二〇二三年三月三十一日）

Online Workshop: Mapping the Legal Landscape of Freedom of Association

Societas Project, University College Cork, Ireland

八 学会活動

憲法理論研究会 運営委員・事務局長

全国憲法研究会 運営委員

比較憲法学会 幹事

小野 秀 誠

一 著書・編著

亡命法学者と法の変容(単著) 信山社(二〇二三年八月) 五五七頁

二 論文

法律家と災害、不可抗力(二)(単著)『獨協法学』一一七号(二〇二三年四月) 一三三〜八二頁

大学の発展における近代の諸類型(単著)『獨協法学』一一八号(二〇二三年八月) 一〜九一頁

ドイツ民法典の起草者・補助者とライヒ司法部(単著)『獨協法学』一一九号(二〇二二年十二月) 一六三〜

二二〇頁

小柳 春一郎

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

日本不動産学会二〇二二年度春季全国大会シンポジウム 「民事基本法制の見直しと所有者不明土地問題 日本不動産学会」(共著・今川 嘉典・大谷 太・小柳 春一郎・中川 雅之・吉田 修平・吉原 祥子・藤原 徹・松尾 弘)

日本不動産学会誌三六(二)(通号一四一)(二〇二二年八月一日) 四〜二二頁

八 学会活動

報告「日本不動産学会二〇二二年度春季全国大会シンポジウム民事基本法制の見直しと所有者不明土地問題」
zoom開催（二〇二二年五月三〇日）

報告「近代地籍の源流としてのナポレオン地籍…国家による土地情報把握の意義と限界」日本法制史学会東
部会第二八三回（二〇二二年一月一七日）

柴田 守

二 論文

「COVID-19パンデミック対応下における犯罪の動向とその分析方法」（単著）『獨協法学』一一七号（安
部哲夫先生退職記念論文集）、獨協大学法学会（二〇二二年四月）二六七～三〇二頁

「若年受刑者処遇システムの新たな展開とその課題」（単著）『犯罪学雑誌』八八巻四号、日本犯罪学会（二〇二二
年二月）一〇三～一一三頁

「令和四年版犯罪白書を読んで―ルーティン部分に関して」（単著）『罪と罰』六〇巻一号、日本刑事政策研究
会（二〇二二年二月）六～二〇頁

「覚醒剤事犯の量刑判断における再犯可能性の心証形成メカニズム」（単著）『専修大学法学研究所紀要』四八「刑
事法の諸問題XI」、専修大学法学研究所（二〇二三年二月）四三～七六頁

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

【ながさき時評】「刑のゆくえ」考 刑事司法が目指す場所は（単著）長崎新聞、長崎新聞社（二〇二二年五月

一六日)

【ながさき時評】「刑のゆくえ」考(二) 鍵を握る地域社会の力(単著) 長崎新聞、長崎新聞社(二〇二二年六月二十七日)

【ながさき時評】「精霊流しの日に」寛容な風景を支えるもの(単著) 長崎新聞、長崎新聞社(二〇二二年八月二十二日)

【ながさき時評】「ジェンダーバイアス」はびこる強固な無自覚(単著) 長崎新聞、長崎新聞社(二〇二二年一〇月三日)

【ながさき時評】「業績評価」その指標 根拠ありますか(単著) 長崎新聞、長崎新聞社(二〇二二年一月七日)

【ながさき時評】「池島慕情」緩く太くつながる(単著) 長崎新聞、長崎新聞社(二〇二二年二月二十六日)

【ながさき時評】「参加型の自治を」新たな価値を創るために(単著) 長崎新聞、長崎新聞社(二〇二三年二月二〇日)

長崎市安全・安心まちづくり推進協議会会長

テレビ長崎(KTN)番組審議委員

八 学会活動

「窃盗犯の動向の短期的変動に関するCOVID-19 封じ込め政策の影響度」(共同・柴田守、山梨光貴) 第五九回日本犯罪学会総会(於…東京医科大学)・一般演題(二〇二二年一月)

日本被害者学会編集委員

日本被害者学会 企画委員

日本犯罪社会学会 編集委員

青少年問題学会 監事

青少年問題学会『青少年問題』編集委員会専門委員

一般財団法人日本刑事政策研究会「罪と罰」編集委員

神馬 幸 一

一 著書・編著

『刑法各論判例インデックス(第二版)』【人の始期】・「自殺関与罪か殺人罪か(二)」(三)・「胎児性致死傷(二)】(分担執筆・編) 井田良・城下裕(二) 商事法務(二〇二三年三月) 二〇九頁、一二〇―一三三頁

二 論文

「高齢被收容者に対する終末期ケアの現状と新たな課題 ― 比較法の観点から」(単著)『犯罪学雑誌』八八巻四号(二〇二二年二月) 一一四―一二三頁

「医療概念における『医療関連性』要件の正体は何か」(単著)『年報医事法学』三七号(二〇二二年九月) 三五―四三頁

「オーストリアにおける新しい自殺幫助法制(含…「臨死指示法の制定並びに麻薬法及び刑法の改正に関する連邦法」全文訳)」(単著)『獨協法学』一一八号(二〇二二年八月) 横九三(二一四)―横一五九(二四八)頁

三 判例研究・批評
「医療概念の再定位——いわゆる「タトゥー事件」を契機として——」(単著)『獨協法学』一一七号(二〇二二年四月) 横一六一(二〇六)～横一九八(二六九) 頁

「臓器売買事件(東京高判平成二四・五・二一)」(単著)『医事法判例百選(第三版)』(二〇二二年七月) 二〇二～二〇三頁

「疼痛緩和を意図した鎮痛剤投与における推定的同意の総合評価」[ドイツ連邦通常裁判所第二刑事部 二〇二〇・五・二六決定] (単著)『判例時報』二五二二号(二〇二二年五月) 一一八～一一九頁

五 翻訳

「オーストリアの新しい自殺幫助法制に関わる連邦政府案注釈(一)」(単著)『獨協法学』一一九号(二〇二二年二月) 横三〇三(六〇)～横三二五(三八) 頁

「オーストリア憲法裁判所二〇二〇年二月一日判決…オーストリア刑法第七八条の部分的違憲性(三・完)」(単著)『獨協法学』一一七号(二〇二二年四月) 横三一九(一七六)～横三四二(一五三) 頁

八 学会活動

「一般演題…臨死介助法制における『手続化』と『官僚化』の相克——オーストリアにおける最近の改革を参考にして——」(単独) 日本医事法学会第五二回研究大会(神戸大学) (二〇二二年一月二七日)

日本医事法学会・学術委員会委員

日本生命倫理学会・評議員

日本翻訳家協会・評議員

日本受精着床学会・将来計画委員会委員
（公社）日本臓器移植ネットワーク・倫理委員会委員

張 睿 暎

一 著書・編著

「著作権契約の事後調整と韓国における著作者の追加補償請求権導入の議論」『知的財産法の新たな地平——高林龍先生古稀記念論文集』（分担執筆（第二章）・編集 高林龍先生古稀記念論文集編集委員会編）日本評論社（二〇二二年一月）四四四～四七〇頁

二 論文

「欧州デジタル単一市場著作権指令第一八条における適正かつ比例的な報酬の原則」（単著）『獨協法学』第一一七号（二〇二二年四月）一九九～二一八頁

「パブリシティ権の保護を巡る韓国の動向」（単著）『CPRAnews Review』vol.2・実演家著作隣接権センターCPR A（二〇二二年五月）八～一〇頁

「韓国における知財の動き」高林龍・三村量一・上野達弘編『年報知的財産法二〇二一―二〇二三』（単著）日本評論社（二〇二二年一月）二六七～二七九頁

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

「ファストムービー五億円損害賠償判決の意義」（単著）『月刊著作権文化』三三三―号・韓国著作権委員会

(二〇二三年二月) 一四〇一五頁

JASRAC国際フェローシップに関する選考委員会委員(二〇二二年〇二〇二三年)

令和四年度文化庁「デジタルプラットフォームサービスにおけるクリエイターへの対価還元に関する調査」に係る技術審査専門員(二〇二一年九月)

令和四年度文化庁「コンテンツ海外流通促進機構」「海賊版被害調査事業」委員(二〇二二年七月〇二〇二三年三月)

八 学会活動

「著作権契約の事後調整」著作者に追加補償請求権は必要か」第二〇回日本知財学会学術研究発表会、於国立大学法人電気通信大学(オンライン開催)二〇二二年一月五日

納屋雅城

三 判例研究・批評

使用目的が住居に限定されているものの転貸が可能とされている借家における民泊行為と賃貸借契約の解除(原著)『獨協法学』第一一九号、獨協大学法学会(二〇二三年二月)横二八九〇三〇二頁

藤田 貴宏

二 論文

- 「定期金売買と教皇令」(单著) 『獨協法学』第一一七号(二〇二二年四月) 二一九～二四八頁
「定期金負担物の減失」(三・完) (单著) 『獨協法学』第一一八号(二〇二二年八月) 一六一～二五六頁
「売買による徴利」(一) (单著) 『獨協法学』第一一九号(二〇二二年二月) 二二二～二八八頁

三 谷 裕 美

二 論文

- 大学英語発音授業における口頭発表のピア評価(共著・寺川かおり) 『獨協大学外国語教育研究所紀要』第一一號、獨協大学外国語教育研究所(二〇二三年三月) 一〇七～一一九頁

安原 陽平

一 著書・編著

- 『現代教育法』(執筆箇所・)学校事故と学校安全(植野妙実子・宮盛邦友編著) 日本評論社(二〇二三年三月)

三 判例研究・批評
一三六～一五一頁

「頭髮指導として、繰り返し頭髮を黒く染めるよう求められ、授業への出席も禁じられるなどしたことを原因に、不登校になるなど、著しい精神的苦痛を受けたとして、大阪府に対する損害賠償請求は認められるか（大阪高判令三・一〇・二八判例地方自治四八六・三四）」（単著）『問答式学校事故の法律実務第二巻―追録第一一四・一一五同綴号―』（学校事故法律実務研究会編）新日本法規出版（二〇二二年二月）六三四ノ二〇ノ五六～六三四ノ二〇ノ六二頁

「学生寮に入寮していた生徒が自殺した原因ははじめであるとして、学校設置者である県に対して損害賠償を請求することはできるか（福岡高判令二・七・一四判時二四九五・三六）」（単著）『問答式学校事故の法律実務第二巻―追録第一一一・一一二同綴号―』（学校事故法律実務研究会編）新日本法規出版（二〇二二年六月）八四〇ノ四ノ一二～八四〇ノ六頁

八 学会活動

日本教育法学会理事（二〇二二年六月～）

憲法理論研究会事務局（～二〇二二年五月）

山田 洋

二 論文

七 日本における地熱発電と立地規制（単著）『獨協法学』一一八号（二〇二三年八月）二五七～二七四頁
座談会・シンポジウム・報告書・その他

ドイツの気候訴訟（単著）上智大学セラップセミナー（二〇二二年一月）

吉川 信 將

二 論文

議決権数の異なる種類株式を発行する会社の上場に関する一考察（単著）『法学研究』九六卷一号、慶應義塾大学（二〇二三年一月）一四五～一六五頁

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

コンプライアンスに関する雑感（単著）『共済と保険』七六七号、日本共済協会（二〇二二年十二月）二～三頁

中野区特別職報酬等審議委員会委員長代理

国際関係法学科

一之瀬 高博

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

(研究会報告) 「一八九九年一〇月三日の仲裁裁定事件 国際司法裁判所 二〇二〇年二月一八日判決(ガイアナ対ベネズエラ)」 国際判例研究会 (二〇二二年一〇月二十九日) (於・獨協大学)

大藤 紀子

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

第一四回日仏公法セミナー報告 *Les "Frontières" de la Covid-19 : ce que les droits de l'homme garantissent* (二〇二三年二月) (於・明治大学)

八 学会活動

全国憲法研究会編『憲法問題』三三三号「秋季研究総会シンポジウムのまとめ」(共著・田中嘉彦) 日本評論社 (二〇二二年五月) 一一四～一一九頁

日本EU学会理事 (二〇一三年四月～二〇二二年一〇月)

岡垣知子

八 学会活動

平和安全保障研究所研究委員

木村雪乃

二 論文

Text processing and memory in EFL reading: The role of relevance instructions(単著) Reading in a Foreign Language, 34 (1) (二〇二二年四月) 四一～六一頁

鈴木淳一

八 学会活動

「コンゴ領域における軍事活動事件(コンゴ民主共和国対ウガンダ)鑑定人の任命に関する命令(二〇二〇年一〇月二二日)」(単独) 国際判例研究会(於獨協大学)(二〇二二年五月)

「世界の健康危機への備えと対応の強化のための国際文書の形式と当該文書が備えるべきガバナンス機関に関

して」(単独) 厚生労働科学特別研究事業「世界の健康危機への備えと対応の強化における我が国の戦略的・効果的な介入に資する研究」(詫摩佳代研究代表) (Webexを利用した遠隔会議) (二〇二二年六月)

「コンゴ領域における軍事活動事件(コンゴ民主共和国対ウガンダ)賠償に関する判決(二〇二二年二月九日)」(単独) 国際判例研究会(於獨協大学) (二〇二三年三月)

宗田 貴行

一 著書・編著

行政処分による消費者被害回復の理論―Eコマースデジタルプラットフォーム規制の考察と我が国の課題―(単著)

法律文化社(二〇二三年一月) 四〇四頁

二 論文

景品表示法に基づく行政措置の変遷と課題―課徴金制度の改善・確約手続の導入―(単著) 『現代消費者法』

五八号 民法法研究会(二〇二三年三月) 六三～七二頁

山田 恒久

二 論文

民訴法三条の九の要件と効果に関する若干の検討(単著) 『国際私法年報』二四号(二〇二二年十二月) 二二

頁

いわゆる客観的事実証明説の限界に関する一考察（単著）獨協大学・『情報学研究』第一二号（二〇二三年二月）
八頁

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

巻頭言―情報学研究の多様性（法律学トレーニング用のプログラミングの一事例）―獨協大学・
Informatics, vol.15（二〇二二年九月）六頁

巻頭言―情報学研究の多様性―（オブジェクト指向プログラミングと国際私法の事例問題のトレーニング）―
『情報学研究』第一二号（二〇二三年二月）六頁

八 学会活動

国際私法年報編集委員

J・ラシーン

八 学会活動

Reviewer - Vocabulary Learning and Instruction (VLI) (二〇一三年～)

Reviewer - Vocabulary Education and Research Bulletin (VERB) (二〇一二年～)

L・ペドリサ

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

講演会 スペイン／EUからみたウクライナ危機(六月二三日)

総合政策学科

大谷 基道

一 著書・編著

よくわかる！地方公務員の定年引上げ（単著）ぎょうせい（二〇二二年五月）全二四頁
Civil Service Systems in East and Southeast Asia【担当：Part I. Japan】（分担執筆・Chong-Min Park, Yousung Han, Yongjin Chang(編)) Routledge(二〇二二年二月) 二七～四四頁

二 論文

職員半減時代に向けた自治体の人材確保（単著）『市政』第八四〇号、全国市長会館（二〇二二年七月）四〇～四二頁

二〇二一年度調査研究報告書の解説『自治体職員に求められる情報分野の専門性に関する調査研究報告書』将来を見据えた人材の確保・育成について』について（単著）『自治調査会ニュース・レター』第二九号、東京市町村自治調査会（二〇二二年十一月）二〇～二三頁

地方公務員採用試験の現状と課題―採用試験はそのままよいのか（単著）『自治体法務研究』第七二号、ぎょうせい（二〇二三年二月）一四～一八頁

採用におけるミスマッチの解消とインターンシップ―求める人物像に合致する人物をいかにして確保するか

五 (単著) 『HIYAKU』二〇二三年三月号、滋賀県市町村職員研修センター(二〇二三年三月) 六〇一〇頁
翻訳

行政改革の国際比較…NPMを超えて【担当】第四章 現代化と改革の軌道【分担訳】C・ポリット、G・ブ
カールト(著)、縣公二郎・稲継裕昭(監訳) ミネルヴァ書房(二〇二二年一〇月) 一〇七―一八五頁
七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

第五二回「都市問題」公開講座パネルディスカッション 自治体職員の「デジタル化」―その可能性と限界
(二〇二二年七月二三日開催)(共著)『都市問題』第一一三巻第一一号、後藤・安田記念東京都市研究所(二〇二二
年一二月) 一六―五三頁

自治体の国際関係部門の組織と人材育成(単著)『国際市場に向けた地域産業政策に関する調査研究報告書』、

地方自治研究機構、地方自治研究機構(編)(二〇二三年三月) 三一―四五頁

内閣府地方創生推進交付金 評定委員

内閣府地方創生拠点整備交付金 評定委員

草加市都市計画審議会 会長

草加市地域経営委員会 委員

草加市振興計画審議会 委員

越谷市行政経営審議会 会長

三郷市情報公開・個人情報保護審査会 委員

小金井市第一〇期行財政改革市民会議 会長

小金井市行財政改革審議会 委員

取手市総合計画審議会会長

流山市入札監視委員会 委員

地方自治研究機構令和四年度自治体マネジメント研究会 委員

日本都市センター気候変動に対応した防災・減災のまちづくりに関する研究会 委員

八 学会活動

日本行政学会 企画委員

日本地方自治学会 企画委員

地方行政実務学会 事務局担当理事

木藤 茂

一 著書・編著

高橋滋編著『行政の実効性確保法制の整備に向けて』（民事法研究会、二〇二三年三月）（分担執筆）【執筆部分】

第三篇第一部第二章「行政上の義務の諸相」二八三～二九九頁

二 論文

「行政組織の機能と課題——完全版——」『獨協法学』第一一七号（二〇二三年四月）横八三～一一五頁

「行政組織の機能と課題」日本公法学会『公法研究』第八三号（有斐閣、二〇二二年一〇月）一〇九～一二〇

頁

三 判例研究・批評

「合議体の議事と利害関係者の関与」斎藤誠Ⅱ山本隆司編『行政判例百選Ⅰ』(第八版)(二〇二二年一月)

二二四～二二五頁

六 六法・コンメンタール

行政不服審査実務研究会編集『自治体法務サポート・行政不服審査の実務』(第一法規、二〇二三年八月)(分
担執筆)【執筆部分】行政不服審査法の逐条解説(第三三条～第二七条)三九八～四三六頁

作 内 由 子

四 書評

網谷龍介『計画なき調整…戦後西ドイツ政治経済体制と経済民主化構想』東京大学出版会、二〇二一年一
二〇二二年度書評(単著)年報政治学(二〇二二年六月)四二七～四三〇頁

八 学会活動

実現可能な公約を求めて——オランダにおける選挙綱領のマクロ経済分析導入の経緯(単独)日本比較政治学
会(二〇二二年六月)

オランダ…「完全比例代表制」下のGAL-TAN争点(単独)日本政治学会(二〇二二年一月)

高橋 均

一 著書・編著

- 『株主代表訴訟における手続上の課題と今後に向けた対応』（単著）一〇三～一二三頁 原強、他三名編集委員
- 『民事法の現在地と未来 小林秀之先生古稀祝賀論文集』弘文堂（二〇二二年六月）
- 『監査役・監査（等）委員監査の論点解説』（単著）同文館出版（二〇二二年八月）一～二二四頁
- 『グループ会社リスク管理の法務（第四版）』（単著）中央経済社（二〇二二年二月）一～二六八頁
- 『会社法実務スケジュール（第三版）』（共編・橋本副孝、高橋均、他四名）新日本法規出版（二〇二三年一月）一～六二二頁

二 論文

- 『監査役監査の実務と対応（第八版）』（単著）同文館出版（二〇二三年三月）一～三八四頁
- 『ESG対応と取締役の義務と責任～コーポレートガバナンス・コードへの取組みを踏まえて～』（単著）台湾玄奘法律學法第三六期（二〇二二年八月）二五～四五頁

三 判例研究・批評

- 『ESGに対する対応と会社の意思決定のあり方～取締役の義務と責任の観点を踏まえて～』（単著）国際取引法学会第八号（大塚章男先生追悼号） 国際取引法学会（二〇二三年三月）一二三～一三七頁
- 『株主提案権行使と取締役等議事録の閲覧謄写請求（大阪高決令和三年五月二八日）』（単著）『ジュリスト』

一五七四号(二〇二二年八月) 一一五～一一八頁
座談会・シンポジウム・報告書・その他

〔解説〕「コーポレートガバナンス・コードと監査役(後編)」(単著)『情報センサー』vol.175、EY新日本有限責任監査法人(二〇二二年四月) 一四～一八頁

〔解説〕「会計監査に対する監査役の任務懈怠責任」令和三年七月一九日最高裁差戻し判決から」(単著)『情報センサー』vol.178、EY新日本有限責任監査法人(二〇二二年七月) 一八～二二頁

〔解説〕「監査役の報酬と今後のあり方」(単著)『情報センサー』vol.180、EY新日本有限責任監査法人(二〇二二年一〇月) 一二～一五頁

〔報告〕「会社法と金商法の交錯における内部統制規制の課題と今後の方向性」統一論題『内部統制報告制度を総括する』その本質と規制の意義」(二〇二二年一月五日)日本公認不正検査士協会 日本ガバナンス研究会第一五回年次大会

〔コメンテーター〕小塚莊一郎＝松井智予＝Veronica L.Taylor「人権とビジネス」コーポレート・ガバナンスの視点から」(二〇二二年九月四日)東京大学本郷キャンパス)国際取引法学会全国大会・大塚章男先生追悼シンポジウム(『国際取引法学会』第八号掲載) 一三～一四頁

〔報告〕「株主提案権行使と取締役会・監査役会・監査等委員会議事録の閲覧謄写請求」(二〇二二年五月二一日)オンライン開催)第七一三回九州大学産業法研究会

〔講演〕「監査役と会計監査」令和三年七月一九日の最高裁判例が示唆すること」(二〇二二年七月二二日)日比谷図書館文化館) (一社) 監査懇話会(監査懇話会會報六四八号(二〇二二年九月)掲載) 一～四頁

八 学会活動

企業法学会理事

国際取引法学会理事

(一社) GBL 研究所理事

徳 永 光

一 著書・編著

『赤ちゃんの虐待えん罪』(分担執筆・秋田真志・古川原明子・笹倉香奈編著) 現代人文社(二〇二三年三月)

三一〜三三頁、九一〜九九頁

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

『コドモノクニ・山道・フランス語―ある弁護士の軌跡』(インタビューア―: 村井敏邦・徳永光、五十嵐二葉著) 日本評論社(二〇二三年三月)

野 崎 亜紀子

七 座談会・シンポジウム・報告書・その他

リベラリズムと出生前検査制度——個人・専門家集団・公権力の関係から考える(単著) α SYNODOS

vol.304 (二〇二二年一〇月一五日)online

「プロフェッションリズムとELSI」研究審査の観点から研究公正を考える【講演】(単独)HAB研究機構
Human Tissue Center「二〇二二年度第二回人を対象とする研究倫理指針研修会」(二〇二二年一月一三日)
online

学会回顧「法哲学」(分担・野崎亜紀子・近藤圭介・菅原寧格)『法律時報』二〇二二年一二月号(二〇二二年
一二月)

八 学会活動

リベラリズムと出生前検査制度ー個人・専門家集団・公権力の関係から考えるー(ワークショップⅢ「NIP
T等出生前検査制度の今とこれからを考える」)(単独)日本医事法学会第五二回学術大会(神戸大学)(二〇二二
年一月二六日)
シンポジウム「生殖補助医療と法規制」(企画担当・総合運営)日本医事法学会第五二回学術大会(神戸大学)
(二〇二二年一月二七日)

福 永 文 夫

一 著書・編著

兵庫県一五〇周年記念『兵庫県史ーこの五〇年の歩み』第一巻(監修)兵庫県史編纂委員会、兵庫県(二〇二二
年三月)

兵庫県一五〇周年記念『兵庫県史―この五〇年の歩み』第一卷（監修）兵庫県史編纂委員会、兵庫県（二〇二三年三月）

